

No.	地域	市町村	施設	内容	現状	現状				目標				実績				導入・定着の取組の実施内容	事業実施前年度	事業実施年度	達成率	備考	評価				
						年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積							生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	
						単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位							単位	単位	単位	
5	一関市	施設野菜(トマト)	トマトの産地形成において ① 販売額の増加を目指す中心経営体の生産基盤整備(規模拡大)及び単収向上技術(点滴かん水装置、環境制御システム等)の導入 ② 新規生産者の確保及び生産基盤の整備 ③ 9月の安定出荷に向けた、着果量調整等の基本技術の徹底及び選種技術の実施拡大 ④ 市場に対する着果状況、出荷見通し等の情報提供による計画的な出荷及び販売競争力の強化を推進する。	総販売額の10%以上の増加(171.1%の増加)	R1	40,057千円	(1.26) ha	127.35 t	657(トマト) 597(ミニトマト) 円/kg	R5	108,836千円	2.56 ha	291.6 t	330(トマト) 700(ミニトマト) 円/kg	R5	72,022千円	2.32 ha	186.8 t	386 円/kg	377(トマト) 837(ミニトマト) 円/kg	355(トマト) 716(ミニトマト) 円/kg	1.062(トマト) 1.169(ミニトマト) 円/kg	77,633千円	54.6%	①現状値の算出方法・中心経営体のトマトの農産物出荷販売実績の合計 (H30: 8,903,508円) R1: 30,280,550円 ②目標値の算出方法・現状値に栽培面積の拡大及び単収向上(自動点滴灌水)の取り組みにより得られる推定販売額を(目標値=現状値+推定販売額) ③実績値の算出方法・中心経営体のトマトの農産物出荷販売実績の合計から算出。	取組主体14名のうち10名が目標未達となり、産地目標も未達となった。産地として高齢化等の影響による面積減少が進む中、取組主体においても、資材代、肥料費、人件費等の高騰により、予定通りに規模拡大しにくい状況となっていることが面積の伸び悩みに繋がっている。新規栽培者確保のため、研修会等での推進をはかることとしている。 取組主体ごとの課題(栽培管理の遅れ、高温による花落ち等)と対策(適期管理、遮熱対策等)が整理されていることから、対策が着実に実行できるよう、今後も地域協議会と連携して目標達成に向けて指導会等を通じ支援していく。	R6評価
1	大槌町	水稲	GPS機能搭載田植え機の導入により、農地の集積に伴う経営面積の拡大に対応するとともに単収の向上を図る	総販売額の10%以上の増加(34.8%の増加)	R1	14,203千円	17.2 ha	生産量 64,997 kg	218 円/kg	R5	19,149千円	18.5 ha	生産量 88,245 kg	217 円/kg	R5	15,744千円	21.4 ha	生産量 79,047 kg	199 円/kg	270.7 円/kg	257.8 円/kg	1.05	16,531千円	47.1%	水稲の販売実績により、検証・評価を行う。	地方が低い農地において単収向上へ向けた適正施肥に係る実証で収量向上の結果が得られていることから現地導入を進めつつ、適正施肥設計支援等も併せながら、今後も関係機関が連携して目標達成へ向けて支援していく。	R6評価